

来週の「売り物」記事はこれ



2012年3月30日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シリーズインタビュー「時代を駆ける」 映画作家、河瀬直美さん

4月3日（火）から2週・10回

カンヌ国際映画祭グランプリなど、若くして数々の映画賞に輝いた気鋭の映画作家、河瀬直美さん＝写真＝が登場します。

奈良の山村を舞台にした「萌（もえ）の朱雀」、自らの出産から命のつながりを考える「垂乳女（たらちめ）」、認知症の老人と介護士のふれあいを描いた「殯（もがり）の森」など、話題作を発表し続けてきた河瀬さん。

幼くして養子になるなど複雑な家庭で育ち、中学・高校時代はバスケットボールに打ち込む“体育会系”の女子でした。専門学校時代は8ミリ撮影に打ち込み、やがて、父親との再会をドキュメンタリーとしてフィルムに収めていきます。

映画製作を通し、生と死、家族のあり方を探りながら、自分自身とも向き合ってきました。厳しくも温かい、河瀬さんの映像世界と半生を追います。



超大型ルポシリーズ「S」が始まります！

ダルビッシュ 語られない「渡米」の謎 朝刊 4月1日（日）



満を持しての新聞革命が始まります。その名も「S（ストーリー）」——。記者が現場を歩き、見て、聞いて感じながらニュースの深層、話題の人物の内面に深く迫ります。それも週刊誌記事にたとえれば、およそトップ記事の分量でお届けします。ボリュームだけではありません。ベテラン記者による達意の文章は、読者を飽きさせることはないでしょう。新聞としてはこれまでどこにもなかった、超大型ルポシリーズ「S」がいよいよ発進します！

第一弾は、日本を代表するエース、ダルビッシュ有投手をお届けします。直前まで、「大リーグ行きは考えていない」と表明しながら、あっさり「変心」した理由は何なのか。そして、メディアを敬遠する理由は……。大投手の秘められた謎に肉薄します。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

新しい「出会い」の季節に贈る 相手を笑顔にする会話術

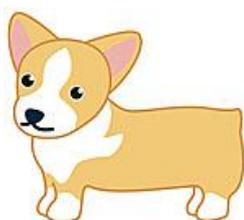
夕刊特集ワイド面 4月2日（月）

いよいよ4月を迎えます。春と言えば、新しい職場や学校、それに地域で、さまざまな「出会い」の機会に恵まれる季節です。でも、「私は口べただし、会話は最大の苦手。ましてや初対面の人と話すのは……」と悩んでいる人も多いようです。でも、「ちょっとしたコツと、気持ちの切り替えさえできれば大丈夫ですよ」と、専門家は口をそろえます。キーワードはにじみ出る「笑顔」とか。現役時代は泣く子も黙る「鬼検事」と呼ばれながら、今では「笑顔の効用」を説く堀田力さんと一緒に「ほほえみ会話術」の世界にご案内します。



「知りたいが分かる」がモットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。

犬のヘルニアって？ くらしナビC面 4月3日（火）



神経が圧迫されて首が突然痛んだりする「椎間板ヘルニア」は犬などペットでも起こる病気です。早期に治療すれば治りますが、治療が遅れば一生歩けなくなる恐れも。実際に愛犬がヘルニアを発症した飼い主や医師らを取材し、治療や注意点などを聞きました。

入学前から友達作り くらしナビA面 4月4日（水）

最近の大学生は入学前から友達作りをしているそうです。秘密はソーシャル・ネットワークキング・サービス（SNS）。ネットで友達を探し、入学式には親友がいる人も。ただSNSを使わない学生と差が出るなど問題もあります。最新のキャンパス事情を探りました。



オーブンを使いこなそう くらしナビB面 4月3日（火）



オーブン機能付き電子レンジの普及に伴い、オーブンを持つ家庭が増えました。でもケーキをはじめお菓子作りなどのイメージが強く、日常的に使いこなせる人は少なそうです。料理研究家、濱田美里さんに初心者でも簡単にできるオーブン料理を教えてくださいました。

— フランスはどこに向かおうとしているのか —

国際面 3日から連載

フランス大統領選の第1回投票が4月22日に実施され、現職のサルコジ大統領に民意の審判が下されます。欧州政治を主導してきたフランスでの選挙は、ユーロ危機から脱し切れていない欧州連合（EU）の現状や、グローバル化時代の資本主義、民主主義のあり方に対する信任投票とも位置づけられます。移民の受け入れ、経済格差、原発政策、外交、雇用・失業問題などでフランスは岐路に立っています。フランスは何に悩み、どこに向かおうとしているのか。3日付け朝刊から国際面で連載を掲載し、フランス社会の今を報告します。

